

<p style="text-align: center;"><b>情報処理Ⅱ</b> (Information ProcessingⅡ)</p>	<p style="text-align: center;"><b>3 年・後期・2 単位・必修</b> <b>機械工学科・担当 廣 和樹</b></p>	
<p style="text-align: center;">〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (2)</p>		
<p>〔講義の目的〕 2 年次に学習した C 言語によるプログラミングに基づいた講義・演習によって、さらに理解を深めることを目的とする。プログラミングによって得られるものは、単なる知識ではなく、条件分岐や繰返しといった処理を用いる論理的思考能力である。</p>		
<p>〔講義の概要〕 プログラミングに必要な文法などは講義形式により行うが、効果的な学習のために、実際にコンピュータを使ったプログラミングの演習問題を用意する。また機械工学における問題解決ツールとしての計算方法についても説明する。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕 プログラミングについては、経験による習得が第一です。つまり、講義だけでなく、演習による試行錯誤の経験を通して、その利用技術を習得するといった要素が大きい。したがって演習に自ら積極的に取り組む姿勢が望まれる。</p>		
<p>〔到達目標〕 中間試験：        文字列、ポインタと関数、ファイル処理 期末試験：        構造体、数値計算の基礎</p>		
<p>〔評価方法〕 定期試験(60%)を基本とし、これにレポート(30%)、取組み(10%)を加え、総合的に評価する。授業中の積極的な質問に対しては、評価にプラスする。</p>		
<p>〔教科書〕 「明解 C 言語 入門編」柴田望洋 ソフトバンクパブリッシング 〔補助教材・参考書〕 配布プリント 「C 言語①及び②」倉 薫著 翔泳社</p>		
<p>〔関連科目〕 講義・演習にあたっては、数学や専門科目の学習と関連づけて進めていくこともある。</p>		

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己 評価*
第 1 週	概要説明	情報処理Ⅱの概要を説明する。 2 年次で習得した内容について演習を行う。	
第 2 週	文字列の基本	文字列の基本について演習を行う。	
第 3 週	ポインタと関数 1	ポインタについて説明・演習を行う。	
第 4 週	ポインタと関数 2	ポインタについて演習を行う。	
第 5 週	様々なプログラム 1	各種プログラムについて演習を行う。	
第 6 週	様々なプログラム 2	各種プログラムについて演習を行う。	
第 7 週	様々なプログラム 3	各種プログラムについて演習を行う。	
第 8 週	構造体 1	構造体について演習を行う。	
第 9 週	構造体 2	構造体について演習を行う。	
第 10 週	数値計算の基礎 1	数値計算の基礎について演習を行う。	
第 11 週	数値計算の基礎 2	数値計算の基礎について演習を行う。	
第 12 週	様々なプログラム 4	各種プログラムについて演習を行う。	
第 13 週	数値計算の基礎 3	数値計算の基礎について演習を行う。	
第 14 週	数値計算の基礎 4	数値計算の基礎について演習を行う。	
第 15 週	総合演習	総合演習を行う。	
期末試験			

\* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.  
(達成) (達成) (達成) (達成)